

災害の記憶

特集 紀伊半島大水害から10年を迎えて



01



02



03



04



05



06

町を一変させた豪雨。その被害は想像を超えるものとなった。



07



08



09



10



11



12



13



14



15

01. 驚異的な豪雨で熊野川が氾濫し県道35号線が浸水。02. 被害状況の確認に向かう町と国土交通省の職員。03. 熊野川と相野谷川の合流地点の鮎田水門付近。04. 成川飯盛地区の農協付近も浸水。05. 大里多目的集会施設付近。06. 取り残された住民の救助に向かう自衛隊員。07. 浅里地区では大規模な土石流が発生。08. 相野谷川の上流から木などが流れ、電柱をなぎ倒し止まる。09. 神内地区では、土砂崩れにより大量の流木が発生。10. 自衛隊により救出された鮎田地区の住民。11. 道路が崩落し、水道管が破損した成川上地区。12・13. 浸水の影響で大量の災害ごみが発生。14. 浸水により流された倉庫が鉄塔に挟まる。15. 大里津本地区を視察し、西田町長から説明を受ける野田元首相と鈴木三重県知事。(01. 紀南河川国道事務所提供。06・10. 陸上自衛隊久居駐屯地広報室提供。02~05・07~09・11~15. 紀宝町役場所蔵。)

今年、町に甚大な被害をもたらした紀伊半島大水害から10年を迎える節目の年になります。

台風第12号は8月30日から9月5日にかけて紀伊半島を襲い、猛烈な雨を降らせました。その雨量は、私たちの想像をはるかに超えるものとなり、多くの市町村に甚大な被害をもたらしました。町内でも、いたるところで道路の通行止めや浸水などがあり、電話の不通や停電、断水など、ライフラインが停止した状態となりました。

また、熊野川や相野谷川などの河川の氾濫や土砂崩れなどにより、1名の方がお亡くなりになり、1名の方が行方不明になりました。そして、1,004棟の家屋が被害を受け、約200世帯が床上浸水の被害を受けるなど、町内のほぼ全地区にわたって、過去に例をみない甚大な被害をもたらされました。

今回の特集では、今一度その災害を写真や被災された方のインタビューなどを通して振り返ります。改めて自然災害の恐ろしさを知り、今後の防災・減災への取り組みにつながればと思います。